

コンピュータをスイッチで動かす テンキー改造 編

☆ 概要



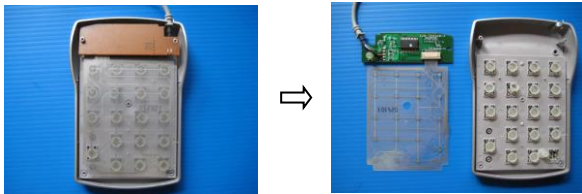

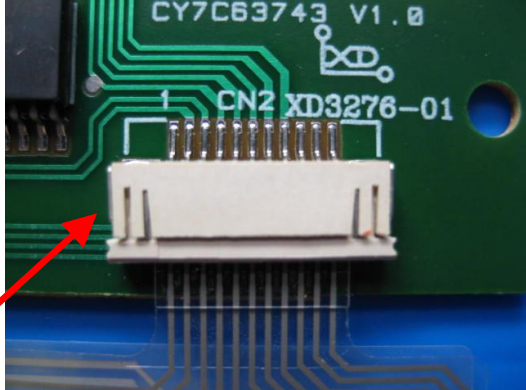

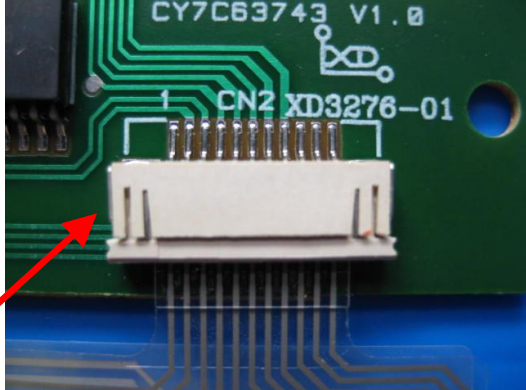

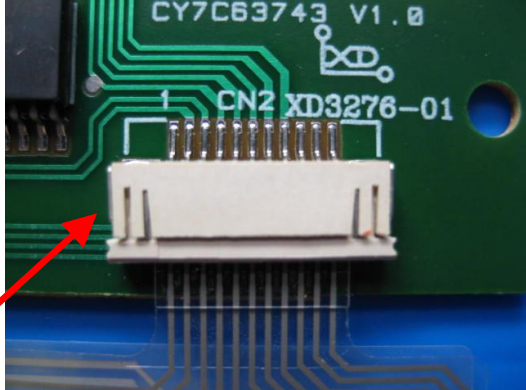
自作ソフトでは、スイッチでソフトを動かすことができるように、マウスでクリックするボタンに数字キーを割り当ててあるものがあります。数字キーを割り当てた理由は、市販の外付けテンキーの簡単な改造で、スイッチの操作が可能になるからです。以下、市販外付けテンキーの改造の解説をします。

☆ 材料

- ・テンキー LOAS TNK-SU214SL

- ・ケース
- ・φ3.5 メスコネクタ

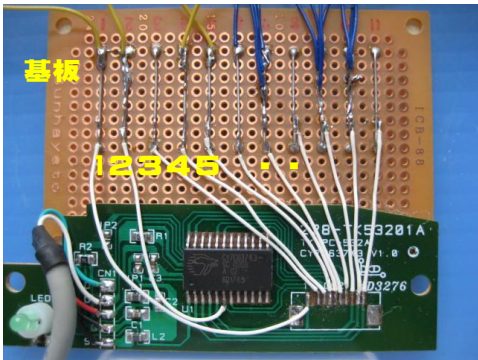
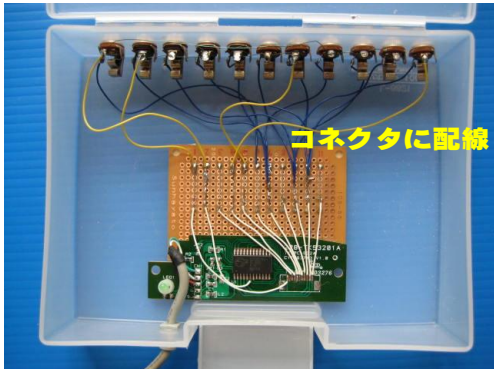
☆ 製作手順

	<p>LOAS TNK-SU214SL</p> <ul style="list-style-type: none">・USB 接続タイプ 外付けテンキー・価格 2000円前後		
	<p>ねじをはずします。 *ねじが見あたらないときは、パットの下やシールの下を疑ってみましょう。</p>		
	<p>ふたを開け、基板を取り出します。</p>		
<p>拡大図</p> <table border="1"><tr><td data-bbox="252 1547 767 1935"></td><td data-bbox="815 1547 1342 1935"></td></tr></table> <p>*スイッチからの入力は、白のコネクタを通して入力されます。 左から1番から11番まで。シートから入力のパターンを読みます。</p>			
			

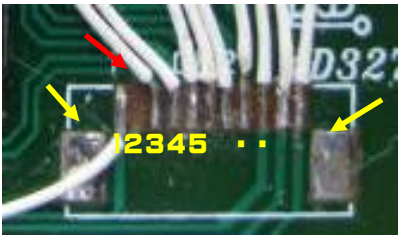
☆ 入力のパターン

	P1	P2	P3	P4	P5	P6	P7	P8	P9	P10	P11
0				○					○		
1		○								○	
2		○							○		
3		○					○				
4					○					○	
5					○				○		
6					○		○				
7	○									○	
8	○								○		
9	○						○				
num L			○							○	
enter		○				○					

- * P4とP9を接続すると、テンキーから「0」が入力されると認識します。
- * このパターンは、機種が変わってもほぼ同じであろうと思いますが、実際に改造を行われる場合は、確認してみてください。

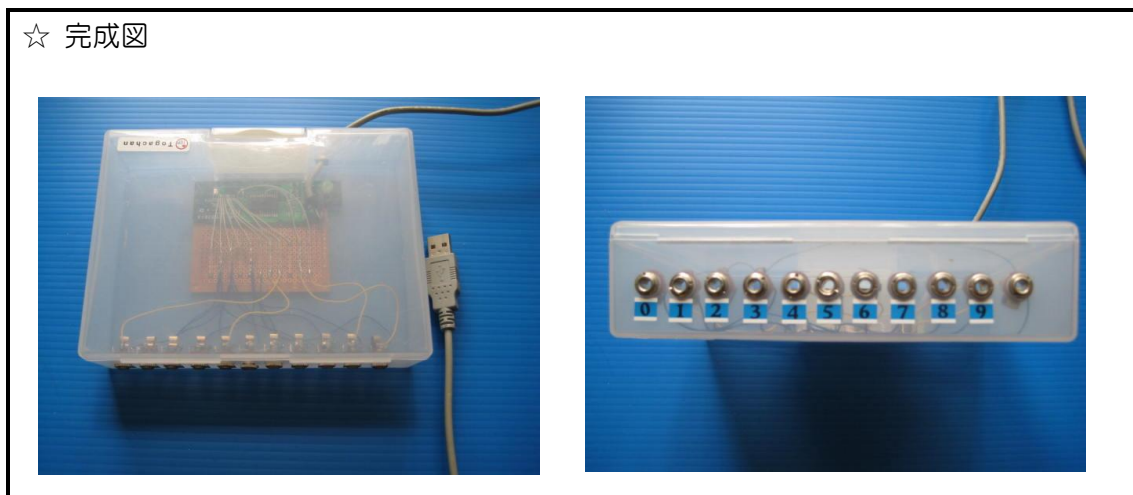


* 基板だけ取り出し、組み付けます。白いコネクタは、無理をしてとるとランドがはがれてしまいますので（2番（赤矢印）をはがしてしまい、別の所から取っています）、まずはランド側の足を切ってから半田付けで固定（黄色矢印）されている白コネクタをはずし、そのあと、残ったピンを一つ一つとるのがよいと思います。



* 一度ユニバーサル基板に端子を引き出してそこから、パターン表にしたがってコネクタに配線します

☆ 完成図



- * USB に差し込むだけで、特別な設定は不要です。
- * コネクタには、個に応じたスイッチを接続することができます。